

# 2021年3月期 決算概要

2021年5月13日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2021年3月期 決算概要

## 2021年3月期 決算ハイライト

日本は復調、中国は堅調を維持し、減収となるも増益を確保

売上	連結	連結売上高は、前期比91.8%、28億円減の324億円。
	日本	前期比84.7%の123億円。 自動車関連の低迷が影響大。但し、下期は復調気配。
	中国	前期比100.3%の168億円。 COVID-19で落ち込んだ1Qを、以降、電子部品・半導体の好調でカバー。
	東南アジア	前期比89.7%の13億円。 4Qは回復傾向にあるものの、マレーシア以外は低調。
	欧米他	前期比77.1%の18億円。 欧州向け輸出は4Qに復調気配を見せたが、米州は低調。
利益	営業利益は、前期比193.0%の1,613百万円 経常利益は、前期比235.1%の1,676百万円 当期純利益は477百万円（前期は純損失3,485百万円）	
ネット資金	設備投資の抑制や運転資金削減等により、期首から2,159百万円増加。	

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

1

### ■ 2021年3月期の決算ハイライト

■ COVID-19拡大の影響もあり、ほとんどの地域で前年同期よりも減収となったものの、いち早く経済活動を再開した中国では第1四半期の減収分を以降の電子部品・半導体関連の好調でカバーし、増収

■ 前連結会計年度の減損損失計上による減価償却費の減額に加え、当社グループ全体で経費削減等に取り組んだことから、営業利益・経常利益は大幅な増益

■ また、2021年3月期にも国内工場の減損損失計上があったが、最終黒字の確保というところまで回復

## 損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期差	前期比
売上高	35,348	32,462	▲ 2,886	91.8%
営業利益	2.4% 835	5.0% 1,613	777	193.0%
経常利益	2.0% 712	5.2% 1,676	963	235.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	- ▲ 3,485	1.5% 477	3,963	-

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2

### ■ 決算数値の概要

■ 売上高は324億62百万円で、前期比91.8%、28億86百万円の減収

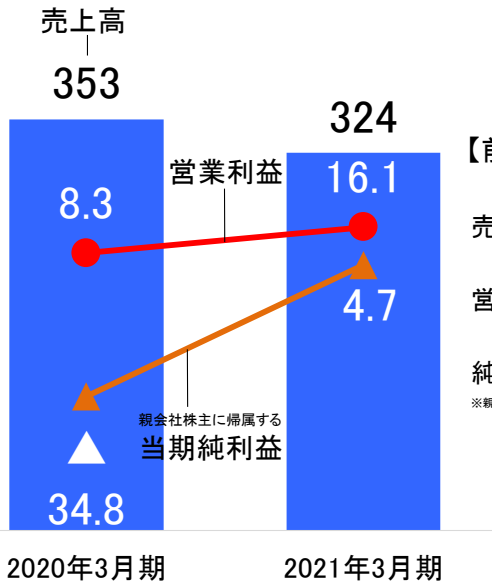
営業利益は16億13百万円

経常利益は16億76百万円

親会社株主に帰属する当期純利益は黒字確保の4億77百万円となっており、利益面では大きく回復

## 売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

売上高	28 億	86 百万円	減収
営業利益	7 億	77 百万円	増益
純利益	39 億	63 百万円	増益

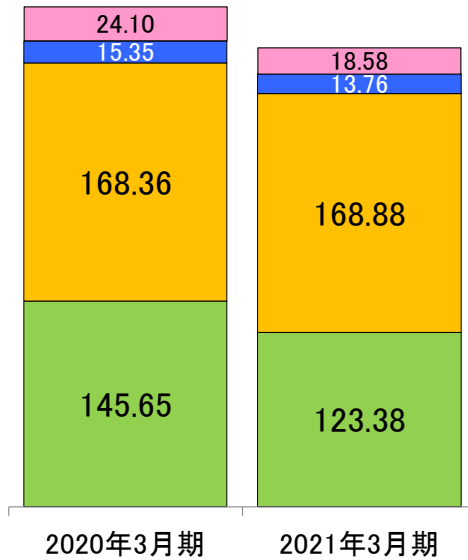
※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2020年3月期と2021年3月期の売上高・利益比較

■ COVID-19拡大の影響による減収となるなか、営業利益以下は増益

## 地域別売上高

(単位: 億円)



中国は堅調を維持して増収

### 欧米他

欧州は4Qに復調気配を見せたが、米州は不調

### 東南アジア

4Qは回復傾向にあるものの、マレーシア以外は低調

### 中国

春節・COVID-19の影響による1Q減収分を、以降、電子部品・半導体の好調でカバー

### 日本

自動車関連の低迷が影響大、但し、下期は復調気配

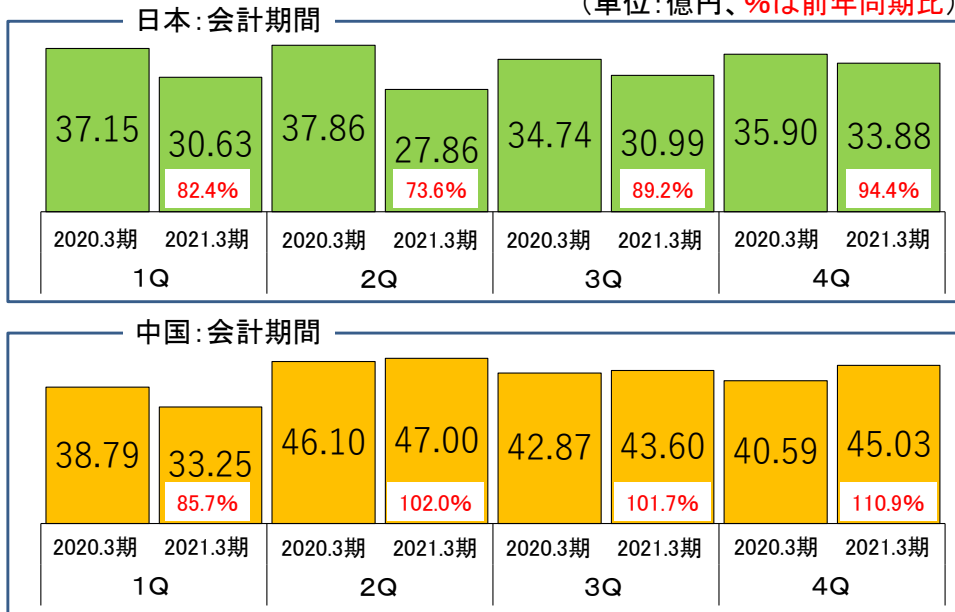
## ■ 地域別売上高の前期比較

■ 中国は2Q以降堅調を維持したが、それ以外の地域では売上高が減少

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高(会計期間比較)

(単位:億円、%は前年同期比)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

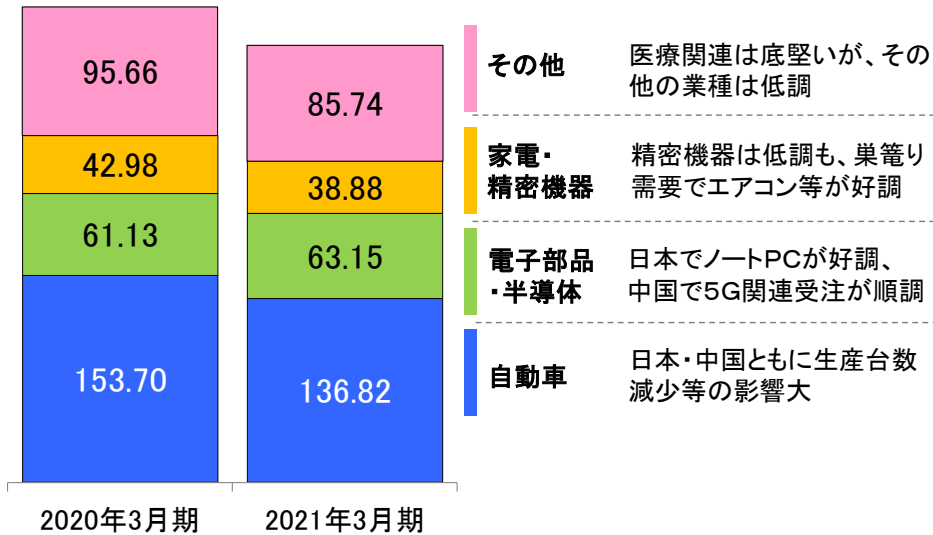
5

- 当社グループの事業の柱となる、日本と中国の売上高(会計期間比較)
- 日本では2Qを底に、勢いはやや弱いものの受注は回復傾向にあり
- いち早く経済活動を再開した中国は1QこそCOVID-19の影響が大きかったが、電子部品・半導体及び家電・精密機器の好調から、累計期間では増収

## 業種別売上高

(単位: 億円)

電子部品・半導体関連が好調を維持



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

### ■業種別売上高の前期比較

■当社グループにおいて売上構成比の高い自動車関連は、COVID-19の影響が長期間に及び低迷が継続、連結売上にも大きく影響

■電子部品・半導体関連については、日本と中国において好調に推移し、前期実績よりも増収

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 営業利益増減

(単位:百万円)

2020年3月期

835

売上減少  
▲750

原価率改善  
649

前期実績から  
777百万円の増益

販管費減少  
878

2021年3月期

1,613

### 【売上の主な増減要因】

■ COVID-19拡大を背景とした世界経済の停滞から大幅な減収

### 【原価率の主な増減要因】

■ 前期の減損損失計上による減価償却費の減額等が影響  
■ 経営革新プロジェクトの効果

### 【販管費の主な増減要因】

■ グループ全体で販売管理費を抑制  
■ 前期の減損損失計上による減価償却費の減額等が影響

## ■ 営業利益の増減分析

■ 前期実績の営業利益8億35百万円から、売上減少の影響により7億50百万円の利益減少

■ 一方で、前期及び当期の減損損失計上による減価償却費の減額等を要因とした原価率改善で6億49百万円、またグループ全体で販管費を抑制したことや、原価低減、失敗コスト撲滅のための「経営革新プロジェクト」を推進した、その短期的な効果もあり、8億78百万円の利益増加

■ 結果、2021年3月期の実績は、営業利益16億13百万円となり、前期からは7億77百万円の増益



## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期末	2021年3月期末	比較増減
総資産	25,576	24,702	▲874
総負債	13,829	12,266	▲1,563
うち有利子負債	6,455	4,997	▲1,457
純資産	11,747	12,436	688
ネット資金	▲3,065	▲905	2,159
自己資本比率	45.8%	50.2%	4.4pt
自己資本利益率(ROE)	-	4.0%	-
設備投資額(無形固定資産含む)	2,011	452	▲1,558
減価償却費(無形固定資産含む)	1,658	968	▲689

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

8

### ■ 貸借対照表サマリー

■ 総資産は、主として減損損失計上に伴う有形固定資産の減少等により、前期末と比較して8億74百万円の減少

■ 総負債は、借入金の減少等により、前期末と比較して15億63百万円の減少

■ 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して6億88百万円の増加

■ 上記の結果から自己資本比率は前期末から4.4ポイント上昇し、50.2%

■ ネット資金は、業績が悪化する中であって、売掛債権の回収等、運転資金の削減に取り組んだ結果、21億59百万円改善

■ 設備投資額は、投資抑制により前期を15億58百万円下回る、4億52百万円

## キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,490	2,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,788	▲670
フリーキャッシュ・フロー	701	2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲772	▲1,684
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	▲150	596
現金及び現金同等物の期末残高	3,366	3,962

### ■ キャッシュフローサマリー

■ 営業CFは24億92百万円の収入

■ 投資CFは6億70百万円の支出

前期に対して大幅に設備投資を抑制したため、約11億円の改善

■ フリーキャッシュフローは22億72百万円のプラス

前期よりも15億71百万円の大幅改善

# 2022年3月期 施策と通期業績予想

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2022年3月期に取組む各種施策と通期業績予想

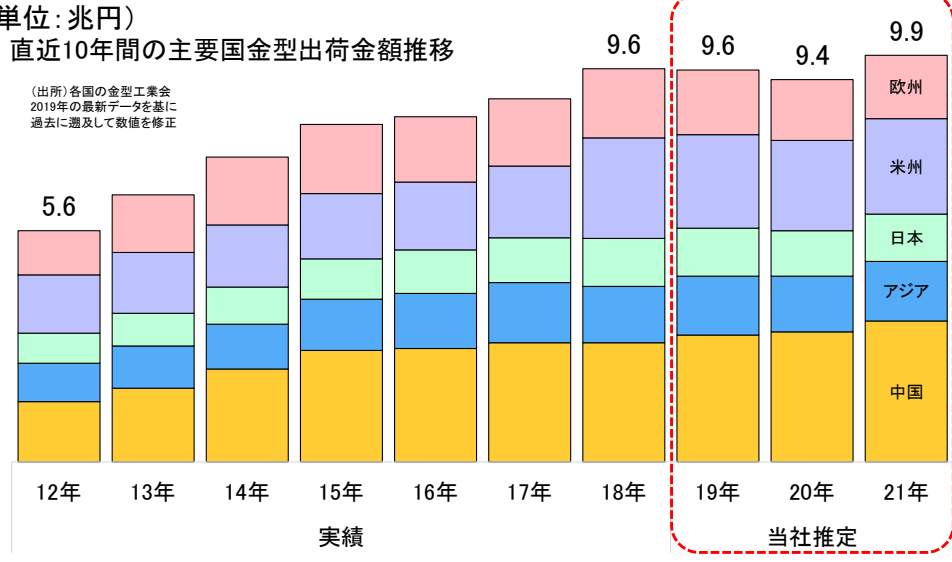
## 金型市場の予想(金額)

COVID-19等による投資抑制から一時的に減少したが回復傾向

(単位: 兆円)

直近10年間の主要国金型出荷金額推移

(出所) 各国の金型工業会  
2019年の最新データを基に  
過去に遡及して数値を修正



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

11

### ■世界の金型市場の動向(各国の金型市場規模をグラフ化)

■2018年までは成長基調だったが、2019年は米中貿易摩擦により、米州と中国市場の成長は停滞

2020年はCOVID-19の影響により、一時的に減少していると推定

2021年は回復傾向に転じるものと推定し、9.9兆円の市場規模を予測

■金型市場の規模から類推する金型部品の市場規模は、約7,000億円と推定

## 重点経営課題と取組み内容

### 販売5極体制の確立

欧州：代理店との連携強化  
米州：インターネット販促強化

### お客様目線を重視した営業力の強化

失注改善、新規開拓、既存顧客カタログ開拓、WEB見積り検証

### グローバル生産体制の最適化とR&D強化

グループ内での生産移管の継続、生産効率改善による仕損費の削減、工法改善と加工能力拡充の継続

### 働き方改革と人材育成

女性活躍に関する会社方針策定、海外人材ローテーション及び人材教育の仕組み作り

■回復傾向にある市場とは言え、現在も緊急事態宣言が出されている状況の通り、特に新規のお客様への訪問と言った取組みは難しい状況

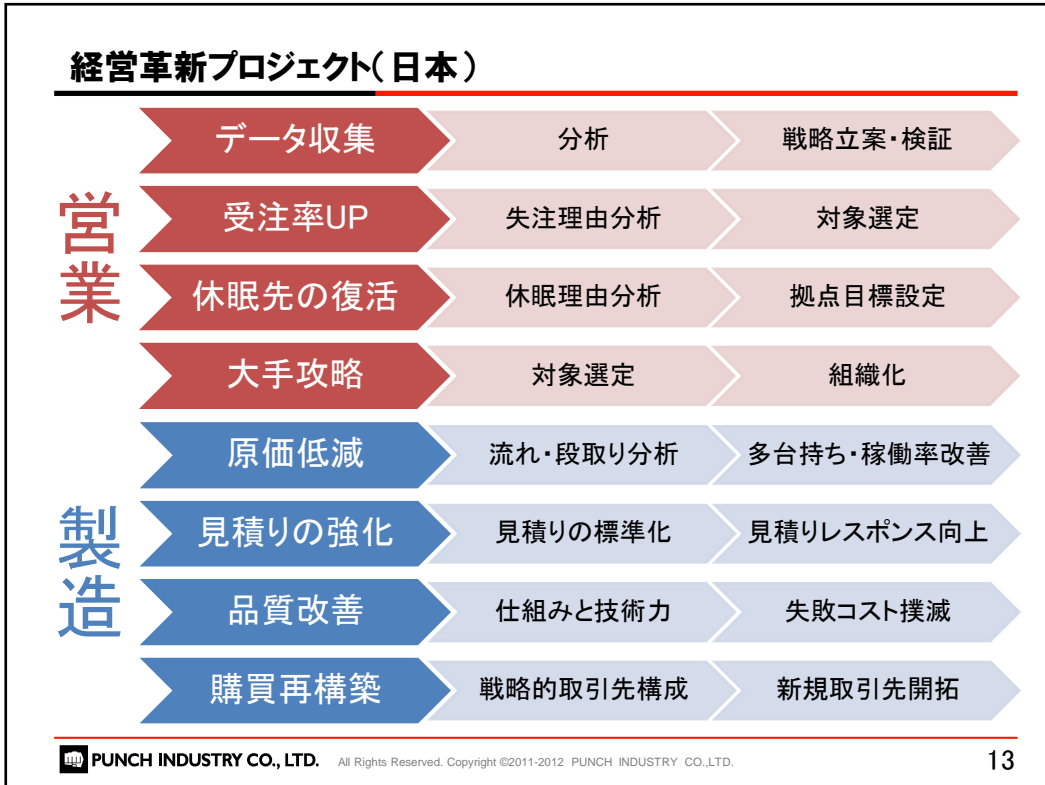
■そのなかにあっても、最終年度を迎えた中期経営計画「バリュークリエーション2020Plus」で掲げた重点経営課題に粛々と取り組む

「販売5極体制の確立」では、主に欧米における販売策のテコ入れを実施

「お客様目線を重視した営業力の強化」では、訪問は難しいものの、失注の改善や新規顧客の開拓、既存のカタログ品顧客に対する売上品目の拡大、web見積りシステムの効果検証などを強化

「グローバル生産体制の最適化とR&D強化」では、グループ内での生産移管による最適な生産体制の構築を進めると共に、生産効率の改善を通じた仕損費の削減や、工法改善、加工能力の拡充も継続

「働き方改革と人材育成」では、主として女性の活躍推進と従業員教育に注力



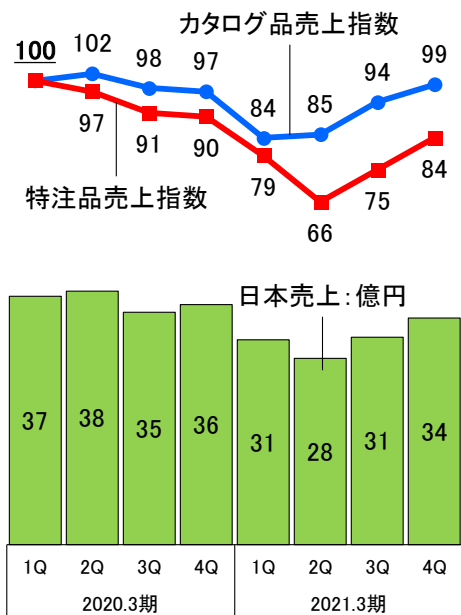
■ COVID-19の影響を大きく受けた日本では、原価低減、失敗コスト撲滅などを柱とした「経営革新プロジェクト」を推進中

経営革新プロジェクトでは、COVID-19の影響が長期化していることを受け、抜本的な経営革新に向けての施策を設定

■ 外部環境の変化に負けない強靱な経営体質を構築すべく、営業戦略や製造戦略の再構築を通じて、短期的な固定費削減などによる縮小均衡ではなく、持続的に利益を出し続けられる仕組みをつくり、中長期的な企業価値の向上を目指す

■ 一方で、なかには短期的に効果が出ている取組みもあり、足下の業績浮上の一つの切っ掛けとなっている

## 日本事業の概況



■ 20.3期1Q売上を指数100としてグラフ化

■ カタログ品は前年並みまで回復

■ 特注品も回復傾向が続く  
⇒当初はパンチグループへ外注していたが、自社工場稼働率維持のために内製化に舵を切った顧客が、「ものづくり」需要の回復にともない、パンチグループへの外注に回帰中

■ 当社内での取組み  
⇒経営の立て直しの中期経営計画である「バリュークリエーション2020Plus」の最終年度として、引き続き、受注回復の取組みを強化

### ■ 日本事業の動向説明(補足)

■ 日本事業での2020年3月期1Qのカタログ品及び特注品の売上を指数100として、四半期毎の推移をグラフ化

■ web受注がメインのカタログ品は、ほぼ前年と同水準に戻りつつある

■ 特注品は、売上の減少が単体収益の悪化に拍車をかけたが、2021年3月期3Qから復調が続いている

## 2022年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高	32,462		36,500		4,038	112.4%
営業利益	5.0%	1,613	6.0%	2,200	587	136.4%
経常利益	5.2%	1,676	5.9%	2,150	473	128.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5%	477	4.0%	1,450	972	303.5%
自己資本利益率 (ROE)	4.0%		11.1%		7.1pt	

2022年3月期  
配当予想

8円 = 中間 4円 + 期末 4円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

15

### ■ 2022年3月期の業績及び配当の予想

■ 足下でCOVID-19感染拡大の波が断続的に訪れていること、またいち早く経済活動を再開した中国は好調を維持しているものの、米中貿易摩擦再燃という地政学リスクに対する不安も払拭できないことから、見通しには予断を許さない状況が続いている

■ 少しずつ回復している「ものづくり」需要に支えられ、業績にも回復感が出て来つつあり、2022年3月期は増収増益を目標

■ 「バリュークリエーション2020Plus」は、経営の立て直しの中期計画として策定しており、トップライン減少によって、利益の額・率ともに落ち込んだ数値の改善を図る

■ 2020年5月に公表した、「バリュークリエーション2020Plus」における2022年3月期の経営数値目標は、

売上高361億円以上、営業利益18億円以上、当期純利益11億30百万円以上

■ 減損損失計上による減価償却費の減少も加味し、今般、売上高365億円、営業利益22億円、当期純利益14億50百万円という経営数値を業績予想とした

■ 2022年3月期の配当は、中間・期末ともに1株につき4円の年間8円(前期よりも年間6円の増配)を予想

■ 今後の、早期の業績回復と配当水準の正常化を期す



## 総括

心づ やすし!!



パンチスピリット

■ 他社がやれない・やらないことに  
チャレンジする

■ お客様にとっての第一候補である  
ブランドに成長する

■ 金型部品業界でのトップブランドを  
目指す

■ ステークホルダーの皆様の  
期待に応える

### ■ 総括

■ パンチグループを、『常にお客様の第一候補である』そんな会社になりたいと考えており、創業以来、他社に無いものを先駆けてやってきた

■ お客様ごとの細かいリクエストに対応し、他社がやれない・やらないようなことにチャレンジしたことで、パンチグループはお客様から必要とされる存在に成長することが出来た

■ 今、パンチグループに必要なのは『我々に出来るからそれを受注する』のではなく、『お客様が求めているものに応えるために我々が変わっていく』こと

■ お客様の困りごとへの解決策を製販一体となって考え提案していく、金型部品事業でのトップブランドとは常にお客様にとっての第一候補であるブランド、パンチグループはそういう会社を目指す

■ COVID-19の影響もあり、当面厳しい状況は続くと思われるが、感染予防に努めつつ、お客様への供給が途絶えることのないよう、フレキシブルに対応する

■ 今後ともお客様をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、事業の一層の拡大と企業価値向上に努める

## 参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2021/>

# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,006名(グループ連結、2021年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

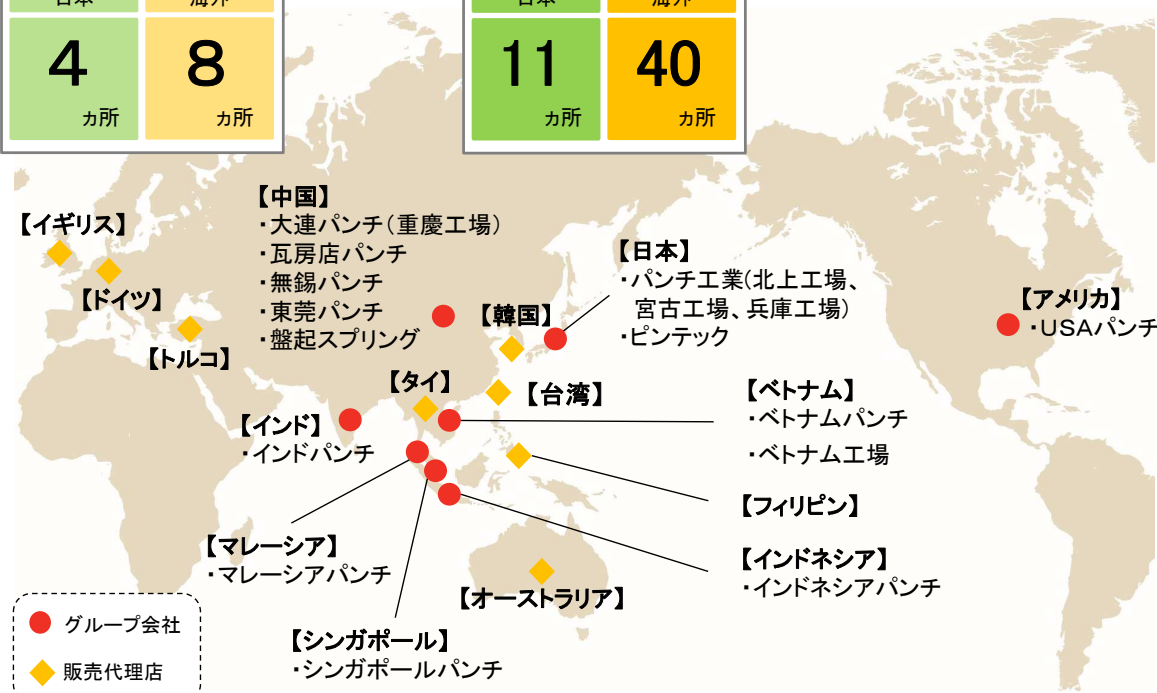
# パンチグループのネットワーク

生産拠点数

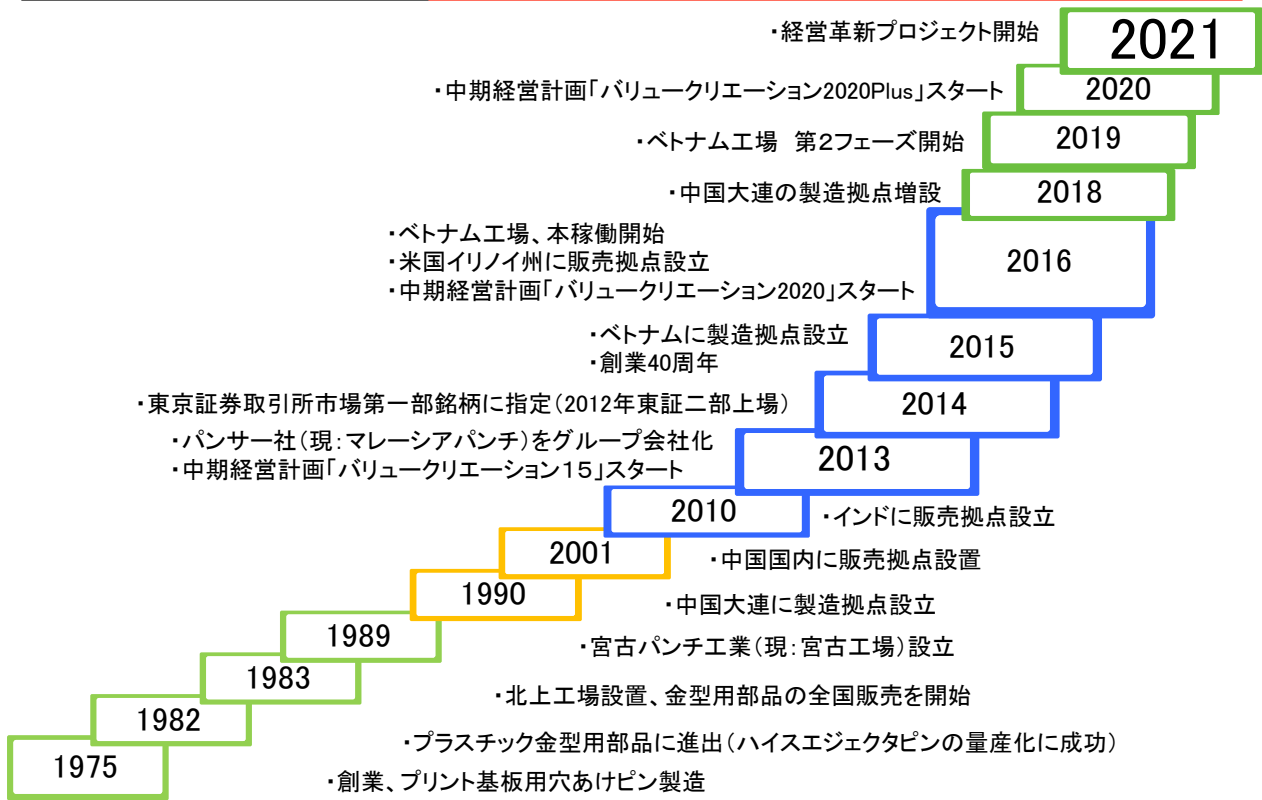
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

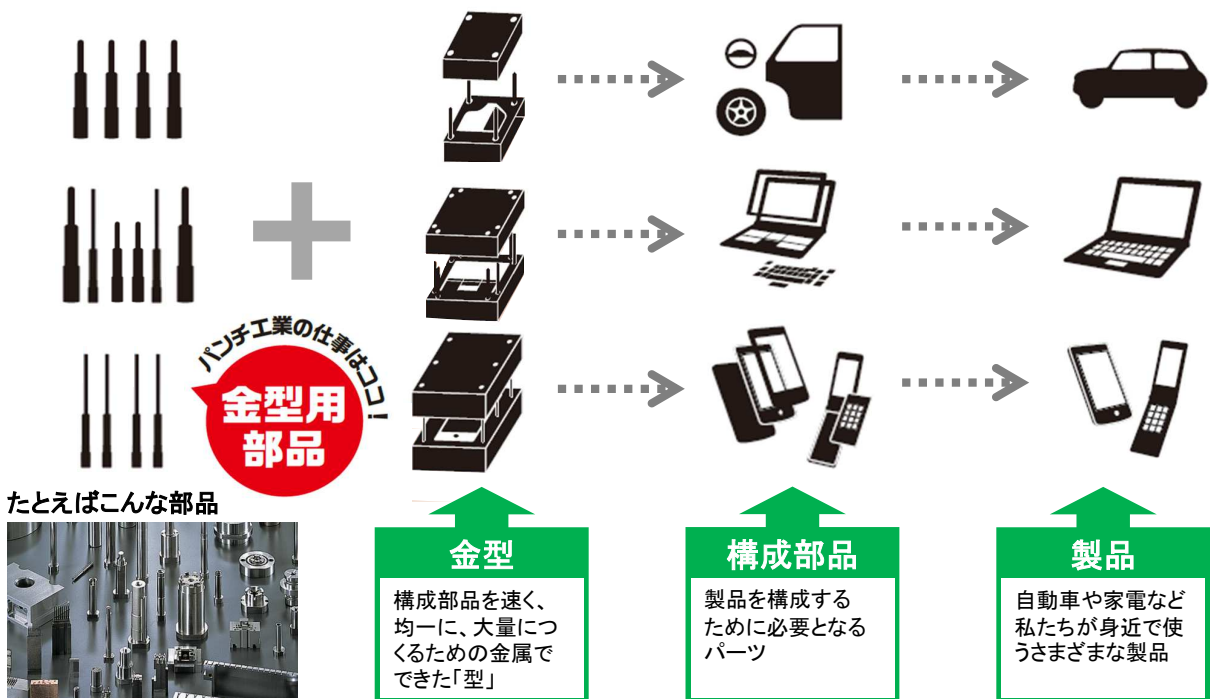


# 沿革

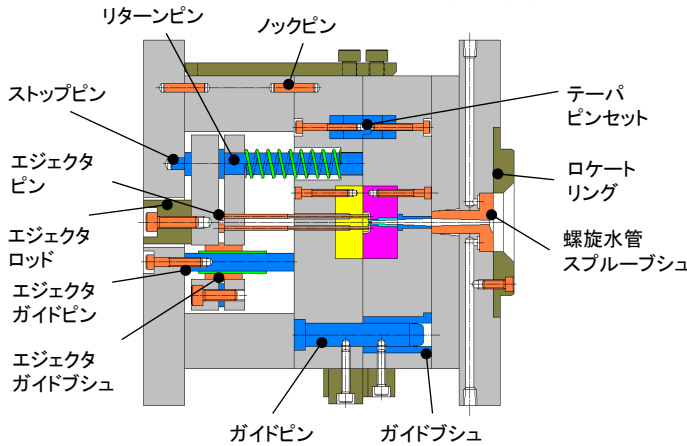
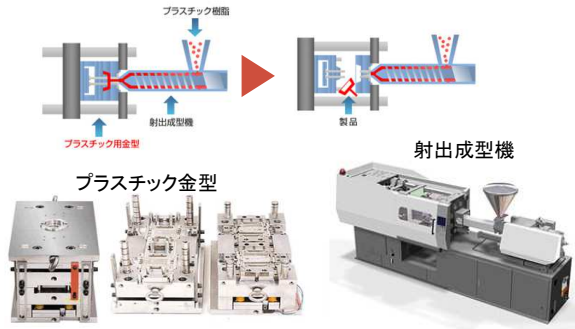


# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



# プラスチック金型と金型用部品



## ●プラスチック金型用部品について

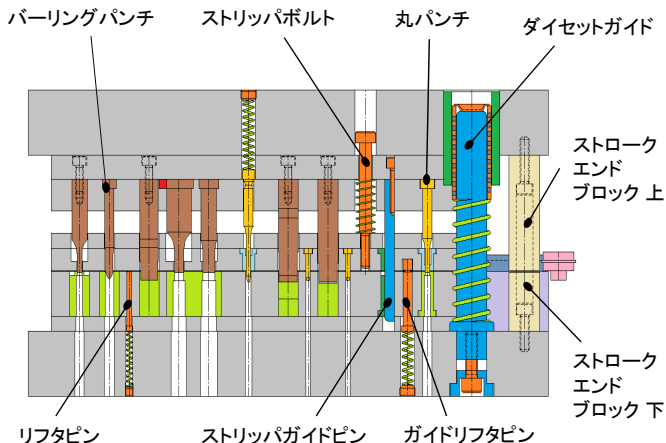
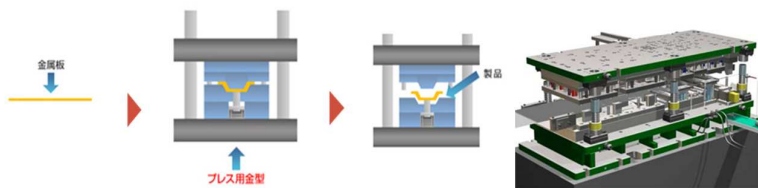
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

# プレス金型と金型用部品



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。


当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

**パンチ**…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

**ダイセットガイド**… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み


お客様に高い満足度を提供



**カタログ品**

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

タイムリーで的確なソリューション



**特注品**

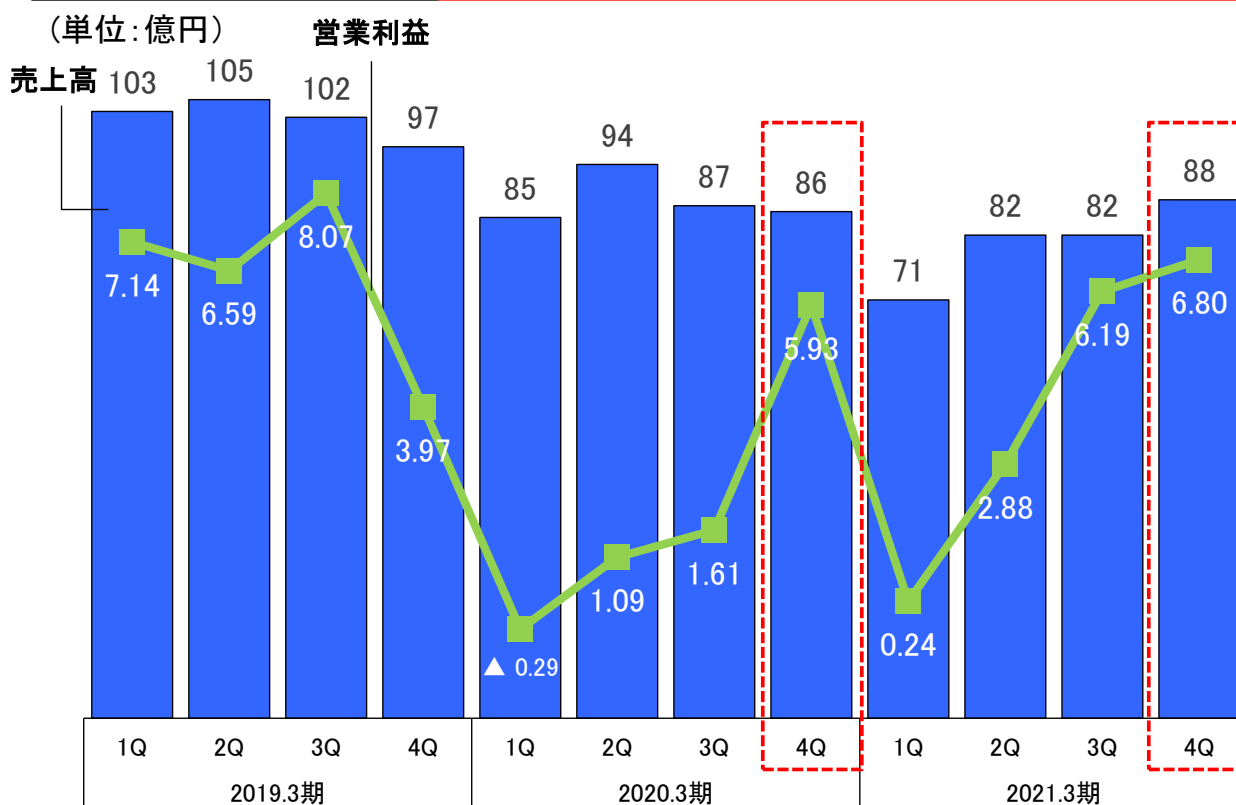
カスタムニーズにも柔軟に対応

**一気通貫の生産体制**  
2,000台以上の設備で幅広い対応力

**お客様密着型の営業体制**  
きめ細かな対応・提案力

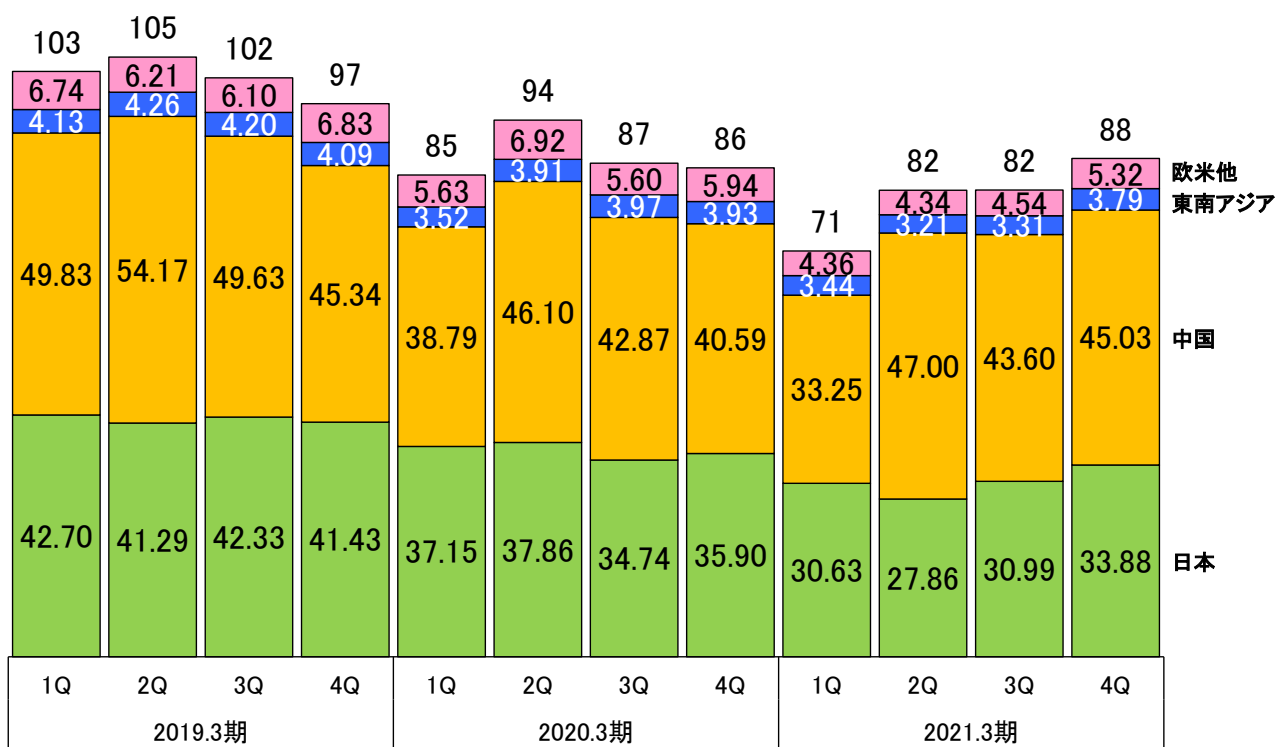
**高い技術力**  
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

## 売上高と営業利益の推移



## 地域別売上高

(単位:億円)



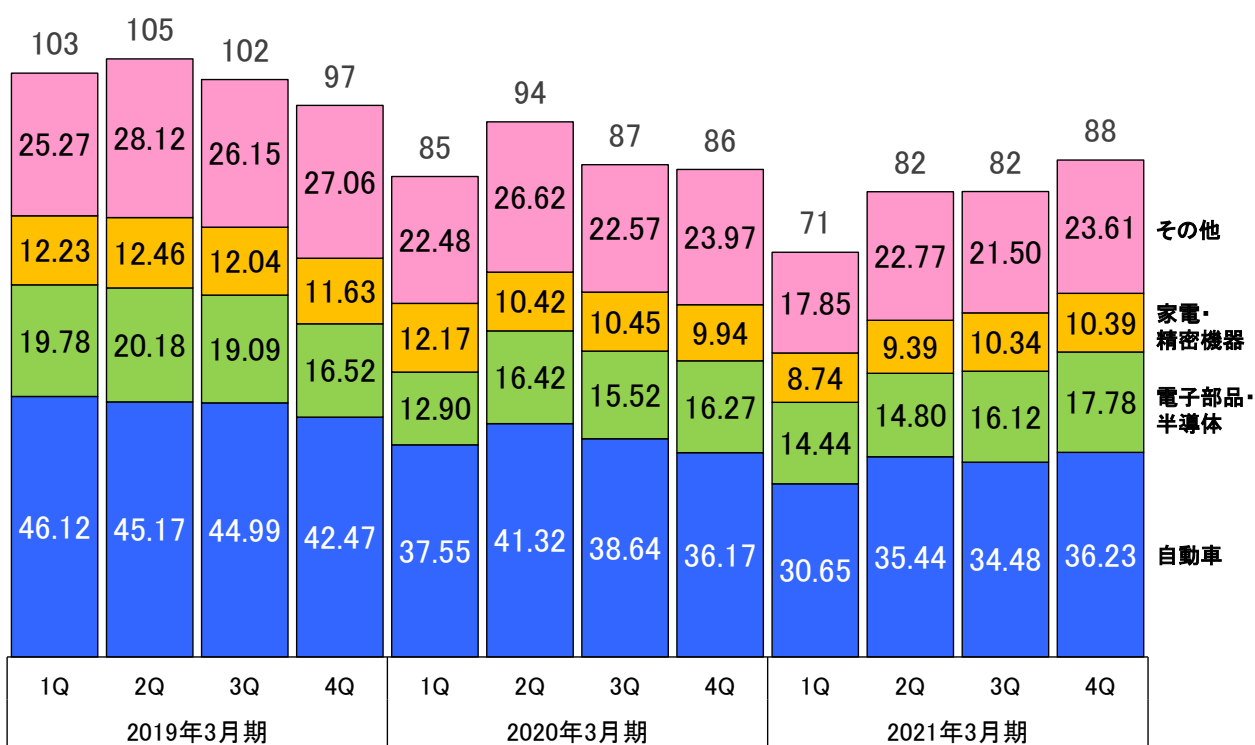
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

26

## 業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

27

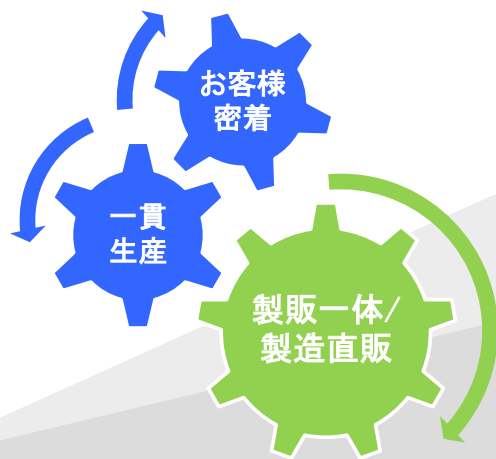


# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

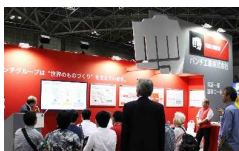
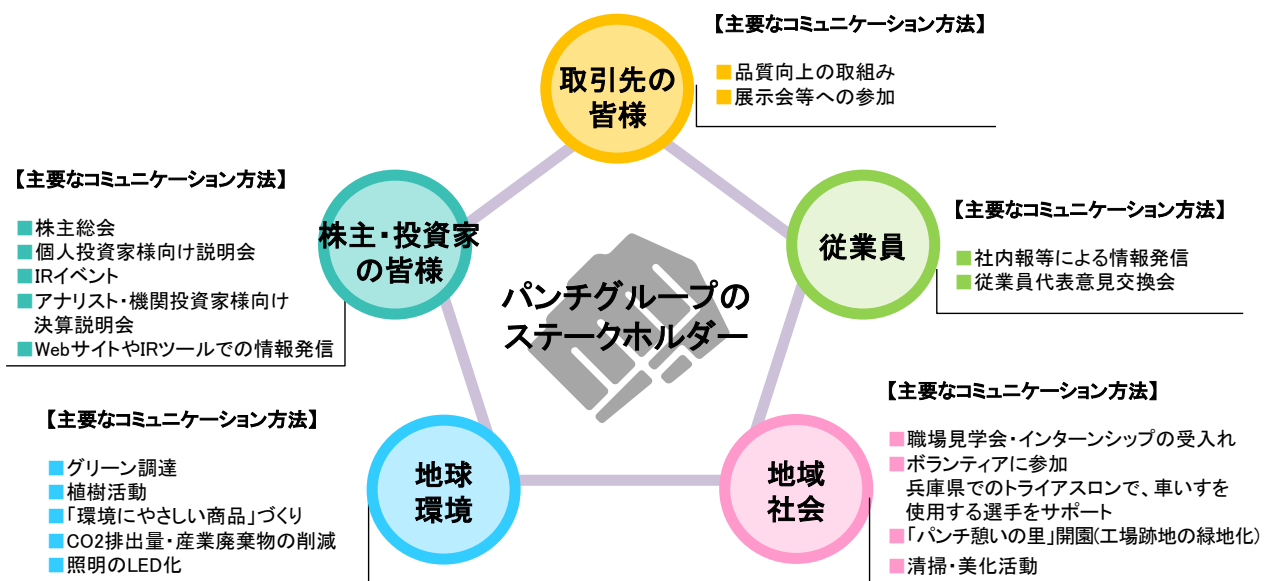
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園  
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動  
(2019年トライアスロンin加西)





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理部 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。